

淡水魚種苗生産企業化試験(ウグイ)

1. 背景

ウグイは、放流用種苗(稚魚)の県内需要に対し、県内でウグイ種苗を生産する養殖業者がおらず、種苗の入手が困難になっています。
このことから、ウグイ卵からの放流用種苗生産及び民間業者への技術移転を目的とした飼育試験を行いました。

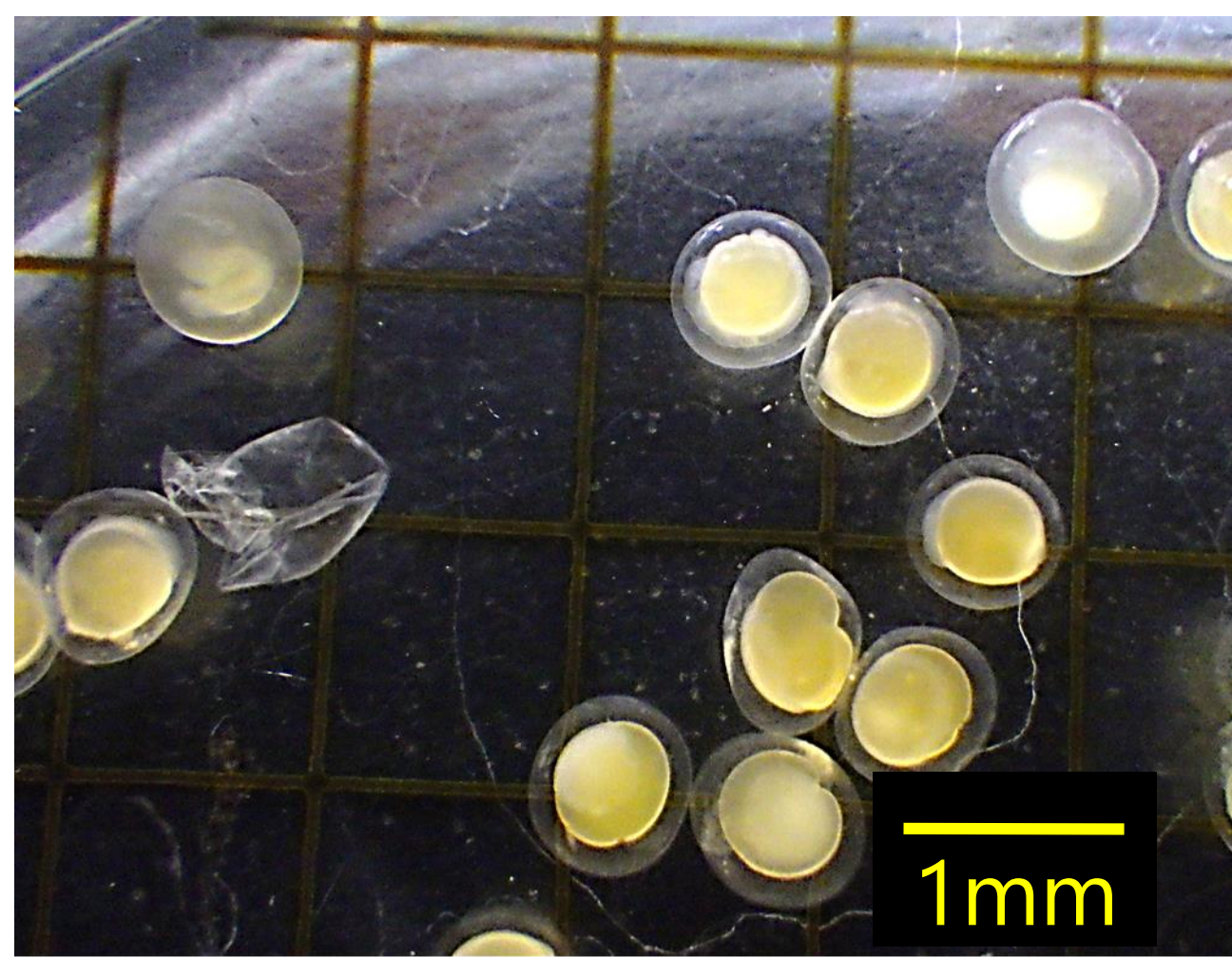


図1 ウグイ卵

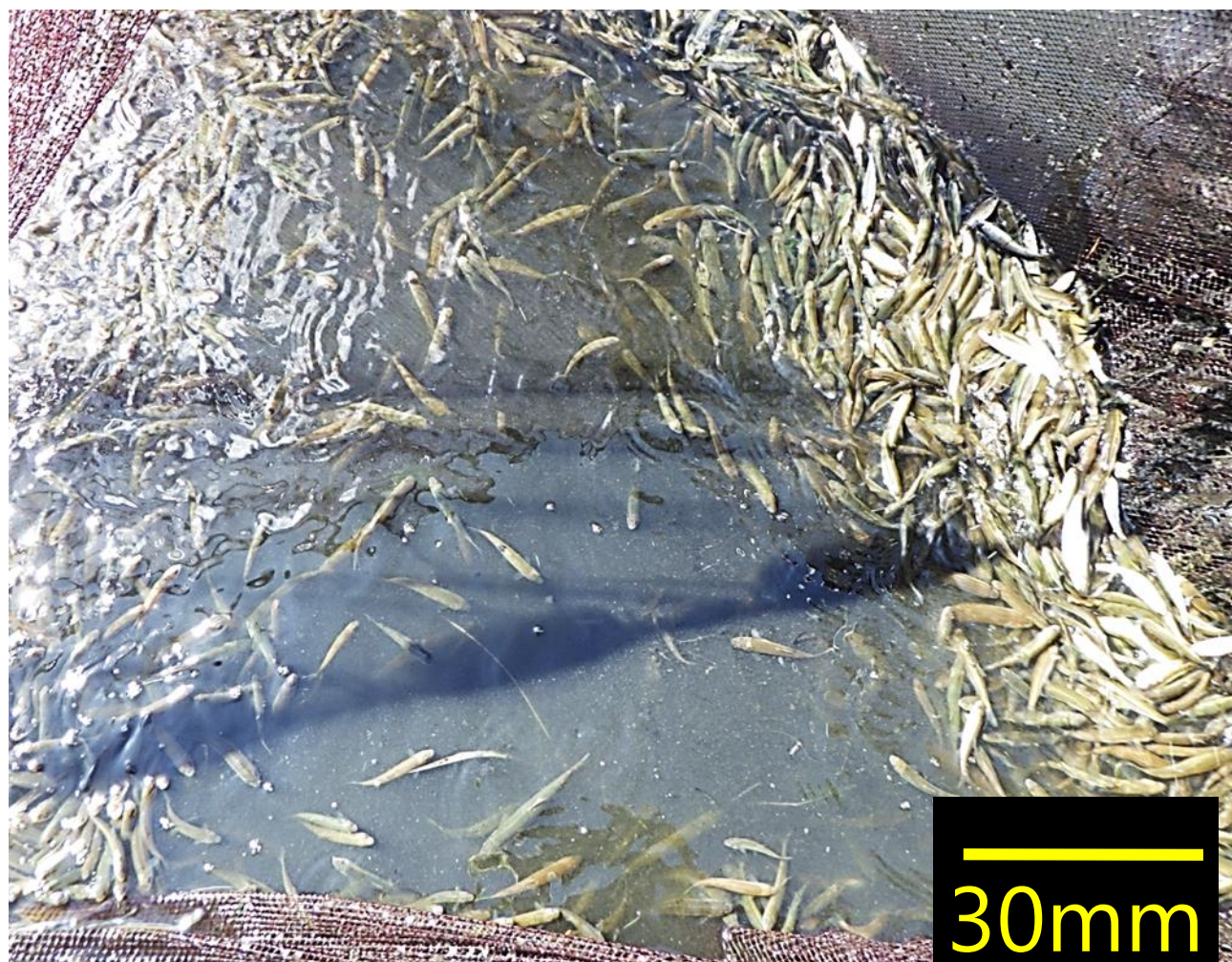


図2 ウグイ放流種苗

2. 材料と方法

【材料】県内の内水面漁業協同組合から購入したウグイ卵

【方法】受精卵から放流サイズ(3g/尾)の種苗を育て、種苗生産費用と稚魚販売金額を比較しました。種苗生産費用の内訳は表1のとおりです。

表1 種苗生産費用の内訳

| 内訳 | 内容 |
|------|--|
| 卵購入代 | 県内漁協からのウグイ卵購入 |
| 飼料代 | コイ用粉末配合飼料(ニューカープマッシュ、NOSAN) コイ用配合飼料(こい2号、NOSAN) |
| 鶏糞代 | 稚魚の初期餌料となる微生物(ワムシ等)の増殖用 |
| 電気代 | 養殖用水車、水中ポンプ、自動給餌機等 |
| 重油代 | 親魚養成に用いる温水ボイラー燃料 |

3. 結果

- 令和6年5月24日～10月28日の157日間で、ウグイ卵から放流種苗578.5kgを生産・販売できました。
- 販売金額が費用計を上回る金額となり、黒字となりました。(表2)。
- 費用計のうち、飼料代が全体の約77%を占めていました。過去のデータでも、飼料代が費用計の半分以上を占めていました(表3)。

表2 ウグイ種苗生産に係る費用と販売金額

| 池名 | 卵購入代 円 | 飼料代 円 | 鶏糞代 円 | 電気代 円 | 重油代 円 | 費用計 円 | 販売重量 kg | 販売金額 円 |
|-----|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|
| CC3 | 19,470 | 423,272 | 1,500 | 30,810 | 59,616 | 534,668 | 389.8 | 801,818 |
| CC4 | 5,280 | 204,728 | 1,500 | 27,452 | 39,744 | 278,704 | 188.7 | 388,155 |
| 合計 | 24,750 | 628,000 | 3,000 | 58,262 | 99,360 | 813,372 | 578.5 | 1,189,973 |

表3 費用計に占める飼料代の割合

| 年度 | R6 | R5 | R4 | R3 | R2 | R1 |
|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 飼料代(円) | 628,000 | 579,385 | 437,223 | 380,160 | 367,323 | 313,443 |
| 費用計(円) | 813,372 | 709,218 | 663,848 | 441,365 | 422,210 | 384,816 |
| 割合 | 77.2% | 81.7% | 65.9% | 86.1% | 87.0% | 81.5% |

4. まとめ

- 費用計のうち鶏糞代・電気代・重油代は、卵や稚魚の数量が増減しても、使用量や稼働期間が変わらないものであることから、ウグイ種苗生産費用を決定する要因は、飼料代であることが示されました。
- 今後の民間業者への技術移転へ向けて、最適な飼料量の定量化を目指します。